

2010年度 就業支援事業所 しあんくれーる 事業計画

児童養護施設退所者などの就業支援事業として 2009 年度に始めた本事業所は、2 年目を迎えるにあたり、本格的な活動が求められている。

1. 職員体制

臨時職員を 1 人採用予定。こどもの家職員も加わり、事業が計画的に遂行できるように体制を整える。まきばの家管理棟の一角を使用し、まきばの家やこどもの家職員と連携を持ちながら活動を進める。

2. 経営面

補助金は、県段階で年間約 430 万円と決定している。事業開始前に国より提示されていた当初の見込み（600 万円規模）より縮小された事業規模となっている。予算に合わせた人員配置とならざるを得ない。

3. 各施設及びハローワーク、ヤングジョブステーションとの連携

中部地区、西部地区の児童養護施設 6 ヲ所、児童自立支援施設 1 ヲ所が守備範囲となっている。各施設と連携を深めるとともに、退所予定者の実態把握に努め、早い段階から対象児の支援体制を整えていきたい。また、各地のハローワークやヤングジョブステーションとも連携をとり、本事業にふさわしい職場の紹介を受けたり、新たな職場を開拓していきたいと考えている。

4. 就業支援セミナー

2009 年度事業で行った「社会に旅立つ君に」は、事後のアンケート結果を見ると、児童にも付き添って来た職員にも大変好評であった。2010 年度はもう少しゆとりを持ったプログラムにし、内容もさらに充実したものを提供していきたい。

5. 次の事業への準備

3 年間（2011 年度まで）の時限付き補助金事業であることが明確であるため、この事業を何らかの形で繋いで行きたいと考えている。県担当者（産業部就業支援局雇用推進室）からは、「地域若者サポートステーション事業」が合致しているのではないかと助言を得ているため、具体的に調査検討をする。